



# 第49回沖縄県知的障がい者教育・福祉・就労研究大会



手をつなぐ・うちな〜  
知的な障がいのある人と共に  
県育成会のHPにも掲載中

発行所  
沖縄県手をつなぐ育成会  
那覇市首里石嶺町4-373-1  
沖縄県総合福祉センター内  
TEL 098 - 882 -5727  
FAX 098 - 882 -5720  
E-mail: oki-iku@woody.ocn.ne.jp  
HP: http://www.oki-iku.com/  
発行人 理事長 田中寛  
定価 50円(会費を含む)

☆大会スローガン☆  
☆地域で安心して豊かに暮らせるための支援体制の確立を☆  
☆障がいのある人の意思決定支援の充実☆



表彰式…写真右(表彰を受ける  
具志堅秋夫さん)  
写真左(田中寛理事長)

2月27日(土) 沖縄県総合福祉センターゆいぽーるにて「第49回沖縄県知的障がい者教育・福祉・就労研究大会」を、二つの大会スローガンである「地域で安心して豊かに暮らせるための支援体制の確立を」、「障がいのある人の意思決定支援の充実」のもとに開催しました。同大会には、宮古・八重山など県内各地から参集していただいた教育、福祉、就労関係者約300名の皆様、また、ご多用のところご臨席を賜ったご来賓の皆様には、心より厚く感謝申し上げます。さて、目まぐるしく改革が行われている障害者福祉施策の中で、今年4月には「障害者差別解消法」も施行されます。加えて、「総合支援法の施行3年後の見直し」や「社会福祉法人法」

の改革法案も審議されている現状において、障がいのある人たちに関連するサービス体系のみならず、サービス提供者である施設や事業所の環境も大きく変化していく可能性があります。このような状況下こそ、保護者組織である私達育成会は、知的障がいのあるご本人と家族の立場で、平成26年に施行された「沖縄県障害のある人もない人も共に暮らしやすい社会づくり条例」の啓発なども含めた、人権擁護を中心とした意見や提案を積極的に行わなければなりません。

私たちはこの大会において、「どんなに障害が重い知的障がいのある当事者でも、親亡き後においても自分自身で生活の環境を選択し、人としての尊厳を持つて暮らせる社会づくり」について、広い分野の課題において実践活動の成果を検証し、研究・討議を重ねた結果を、当事者とその家族に必要な支援として推進していきます。

最後になりましたが、同大会において、地域で育成会活動に貢献をされ感謝・表彰を受けられました皆様の永年にわたる育成会活動へのご貢献、ご尽力に心から感謝と敬意を表すとともに、本大会開催にあたり、ご尽力、ご協力頂きました関係機関の皆様、そしてこの大会の趣旨にご賛同賜りご協賛くださいました多くの皆様に心より感謝を申し上げます、大会報告に代えさせていただきます。(田中 寛)



本人部会発表者の皆さん



シンポジウム発表者の皆さん



大会会場内の様子

☆2面に研究大会の感想文を掲載しています。合わせてご覧ください☆





### 研究大会に参加して

名護わかば園

主任 友利 英之



大会に参加し、スローガンにあります「地域で安心して豊かに暮らせる為の支援の確立を」「障害のある人の意思決定支援の充実」という

事で児童施設に働く私には地域社会に繋ぐ大事な役割立場にいる事を改めて深く考えさせられました。参加されている中には知的障害を持つ保護者の方も多く、各施設・事業所へ求める意見も沢山あるのではないかと思います。私は福祉に携わり、あれやこれやと支援方法と手順を模索してまいりました。結果は完全に不十分ですが、繰り返し支援を行う事により当事者は変わる、学んでくれた、成長してくれたという実感があります。

しかし、繋ぐ支援としての役割遂行は支援プログラムをしつかりと組み立て、その当事者が地域社会に育っていく事が私たちの目標であります。

又、その目標を達成するにはライフスキルの取得は学齢期から青年期、そして成人への新たなステージに向けてその役割が重視されています。今回の意見発表ではそのライフスキルを取得した方達の貴重な講演を聞き、今後の支援に生かしていきたいと思えます。

今大会に参加して、目まぐるしく変化する社会福祉制度を再度振り返る事ができました。是非、次回も参加したいと思えますので宜しくお願ひします。



### 研究大会に参加して

うるま市勝連手をつなぐ親の会  
会長 高良 瞳



研究大会に参加して、これらの障がい者福祉施策、現状についてとても参考になり、身の

引きしまるような気持ちです。障がいのある児童、人達が健やかに日々を暮らしていくには、まだ十分な環境ではないと思えます。

私達はこの先も学び実践することがたくさんあります。

「障害者総合支援法」等が施行されて福祉施設も増え、障がい児の為の児童デイサービスも多数できました。

しかし、大事なものは親の意識です。今回参加者に学齢期の保護者が少ないように見受けられました。これからの育成会の課題だと思えます。

障がいのある人もそうでない人も共に明るく笑顔でいられる社会をみんなで目指したいです。



### 研究大会に参加して

鳩生の叢ティサービスセンターあおさと  
課長 稲福 由紀枝



今回の研究大会に参加させて頂き、本人の意見発表「私の生活と将来の夢」で発表していた「具志堅秋夫さん」の生活を聞いて感動しました。

患者さんの危険性を考えて滑らないようにモップ掛けを配慮したり、趣味の時間を工夫したり、楽しく両立できる事がとても羨ましく思いました。家庭を持ち子供を育てながら、定年後、将来の夢まで考えていることに多くの元気をもらったと思います。

また石垣のマックスバリユーで働いている「松井翔さん」には2年前に会った事があります。イチゴの商品補充をして頑張っている姿が印象に残っています。

仕事上、障がいの方が働いている姿を目にすると、ついつい応援し、元気の源を貰っています。これから

も応援していきたいですね。シンポジウムでは、本人や家族だけでなく、サービス事業所の職員や相談員・周囲の関連機関などに困っている事などを相談しながら、親亡きあとの支援について、みんなで支え合う環境を作ることが大切だと共感しました。



### 研究大会本人部会で発表をして

笑顔と挨拶と映画が大事！  
八重山地区手をつなぐ育成会  
松井 翔



仕事を一日お休みを貰って、大会前日に那覇に来ました。

そしておもちゃで映画を本観しました。もっだめかと思っていた「スター・ウォーズ」と、CGを使っていない「Xミツシヨン」です。やっぱりDVDと違い、迫力がすごいんです！夢中で観ました。

大会で意見発表の時、あまり緊張はしませんでした。目の前の人によく聞こえているか心配だったので、大きな声を心がけました。「こんにちは。いらっ

しやいませ。」の時、会場から拍手が多く聞きました。笑ってもらえたシーンもあってよかったです。リラック

スする為の深呼吸が面白かったです。一般就労では笑顔と挨拶が大切で、

これからも頑張ります。





## 「2015年度育成会フォーラム」& 「2015年度行政説明会」の報告



3月2日(水)「2015年度育成会フォーラム」が、3月3日(木)「2015年度行政説明会」が東京都で開催されました。国の動向や施策の方向性、これからの育成会活動に向けて等、説明と議論が行われました。その内容についてはDVDとして制作され、各都道府県育成会に配布されます。

ご要望のある方は沖縄県育成会までご連絡下さい。(田中 寛)

### 【 育成会フォーラム内容 】

#### シンポジウム①

- ① 「差別解消法と地域協議会」
- ② 「総合支援法3年後の見直しについて」
- ③ 「65歳以上の介護保険適応問題」

#### シンポジウム②

- ④ 「意思決定支援・成年後見」
- ⑤ 「障害基礎年金」
- ⑥ 「これからの育成会活動に向けて」

#### シンポジスト

- ・ 又村あおい 「手をつなぐ」編集委員
  - ・ 野沢和弘 毎日新聞 論説委員
  - ・ 大塚晃 上智大学教授
  - ・ 久保厚子 全国手をつなぐ育成会連合会会長
- コーディネーター  
・ 田中 正博 (全国手をつなぐ育成会連合会統括)



### 【 行政説明会内容 】

#### 趣旨:

我が国における障害福祉、障害者雇用、特別支援教育の各施策の現状と今後の方向性について、各省の担当課からの行政説明ならびに質疑応答等を通じて、全国の育成会の役員等の理解促進と研鑽を積むことを目的とします。

#### 行政説明①

厚生労働省 社会・援護局障害保健福祉部  
障害福祉課長 田中 佐智子 氏

#### 行政説明②

厚生労働省 職業安定局雇用開発部  
障害者雇用対策課長 尾崎 俊雄 氏

#### 行政説明③

文部科学省 初等中等教育局特別支援教育課長 井上 恵嗣 氏



## 全国育成会事務局長合同会議の報告



3月2日(水)東京都にて、「2015年度都道府県・政令指定都市育成会代表者及び事務局長合同会議」が行われました。会議議題については下記をご覧ください。(田中 寛)

### 【 会 議 議 題 】

- (1) 全国手をつなぐ育成会連合会2015年度事業計画(案)及び収支予算(案)について
- (2) 地域育成会活性化のための研修等への助成(案)について
- (3) 災害支援基金規程(案)の設置及び会員規程細則の改正(案)について
- (4) マイナンバー制度に關して
- (5) 全国大会神奈川大会に關して【全国表彰者の推薦依頼】
- (6) ヘルプマークの普及に關して
- (7) 来年度、各省予算の概算要求要望について
- (8) 権利擁護センターからのアンケートについて
- (9) 意思疎通支援の研究結果について
- (10) 役員改選について
- (11) その他 公益社団法人成年後見センター・リーガルサポートより挨拶









# わたし こゑ こと ♪ 私の声を届けます ♪



## 「夢に向って頑張る」



はんど いん はんど  
与那嶺 美那子

「福祉事業所はんど in はんど」に通って6年になります。

私の名前は与那嶺美那子です。

毎日の活動は、家では洗濯したり子供の勉強をみたりしています。

仕事内容は、お菓子工場でクッキーの生地作りや、

型どりをしています。その他にも、わかめ・昆布や

乾燥トマト等の袋とじ作業をしています。

目標は、ミスしないように、クッキーの型どりや

色々な事に慌てずゆっくりすることです。

そして、仲間同士で仲よくしながら仕事したいです。

私には小学三年の娘がいます。

子育ても仕事も頑張りたいと思います。

夢は、仕事や子育てで仲間や母や周りの人に認めてもらうことです。

今は母の助けを借りてますが、

いつかは親子三人で暮らせるように自立していきたいと思っています。

その目に向けて頑張っていきたいと思っています。

貯金して娘も含めて仲間と一緒に旅行に行きたいです。



## 募集

☆投稿募集☆

「私の声を届けます」コーナーでは記事投稿募集を随時行っています。知的障がいのあるご本人様の日頃の想い・活動内容を多くの方に届けてみませんか？お問い合わせは県育成会までお願いします。



## 理事通信

### 「琉球風車」さんへの感謝状

理事 下地 利恵子



へ 第49回沖縄県知的障がい者教育・福祉・就労研究大会」の表彰式で感謝状を授与することができたことです。

「琉球風車」は県内3大学（琉球大学、沖縄国際大学、沖縄大学）の学生で構成する学生エイサー連合ですが、すでに15年の交流が続いています。これまで先輩の卒業、新入生の入学と繰り返しながらもサークルは継続して、どの学生さんも丁寧にエイサーの指導をしてくれました。今では、「ゆいまーる」・「ナカヤ」・「生活介護センターつばさ」の3障害者事業所が毎年学生達とのエイサー交流を楽しみにしており、また毎年開催される育成会文化祭りで披露できることをみんな楽しみの行事の一つとして心待ちにしております。

改めて、感謝状を授与して下さった沖縄県手をつなぐ育成会へ、この場を借りてお礼を申し上げます。

本当にありがとうございました。





